



杉並区立小中一貫教育校

杉並和泉学園

新泉和泉小学校 / 和泉中学校

令和元年9月2日
学園だより No.49
学園長 田中 稔

TOKYO 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会まで、あと 326 日

学園長 田中 稔

2学期が始まり、児童・生徒の元気な声が杉並和泉学園に戻ってきました。その明るい表情からは、全ての児童・生徒が、夏休みの40日間、授業だけではできない様々な体験等をたくさんしたことが感じ取れます。また、受験を約5か月後に控える9年生や一部の6年生にとっては、目標の達成に向けた努力をきっと積み重ねてきたのだと思います。

私は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京2020大会」）の開始まで1年を切ったということもあり、「オリンピック・パラリンピックは、『本当は』何のために行われるのか」という疑問の自分なりの答えを見付けるため、様々な文献等を読み漁る毎日を送っていました。

学校司書の先生にご紹介いただいた文献等をあたる中で、各都市（国）の開催目的は、現在のオリンピックの生みの親であるフランスの教育者クーベルタンがあるべき姿として描いた「世界平和への寄与」だけではなく、「第二次世界大戦や東日本大震災からの復興を知らせたい。」「自分の国を多くの国に知ってもらいたい。」「自国経済をもっと活性化させたい。」「国民の連帯感を強くしたい。」等、様々なものであるということが分かりました。

東京2020大会の開催は、児童・生徒の人生にとっても、またとない機会であり、児童・生徒一人一人が平和や国際社会について考えたり、思いやりの心や人権感覚、ボランティア精神、豊かな国際感覚、スポーツへの愛好等を育てたりする絶好のチャンスです。そして、本学園では、その中でも思いやりの心や異文化を理解しようとする国際感覚などを磨くための教育に力を入れています。オーストラリアや中国、ペルーの学校の訪問を受け入れるのも、東京2020大会を見据えての事です。このような国籍を超えた人と人の心を通わせる交流は、児童・生徒一人一人に思いやりの心や国際感覚を確実に高めています。

2016年に決まった東京2020大会のエンブレムは、オリンピックのエンブレムもパラリンピックのエンブレムも江戸時代に人気のあった市松模様をもとに、日本の伝統的な藍色をもちいた4種類の四角形を組み合わせています。驚かされるのは、それぞれの四角形の数やパーツごとの向きが全て同じということです。数学的なアプローチのデザインを得意とするエンブレム作者の野老朝雄さんは、このエンブレムに込めた思いを「みんな違うから面白い、みんな違うけれど繋がる。互いを認め合い支え合いながら一つになれる時がやってきます。同じ形、同じ数の四角形でつくられるエンブレム。それは平等の証。障害の有無を乗り越えて、あらゆる障壁を越えて、人と人がつながってゆきます。」と語っています。本学園で磨きたい3つのCのつく精神の一つ、「Communicate」は、このエンブレムのコンセプトである、国・民族等の違いや障害の有無等を超え、人と人が互いを認め合い、尊重しようとする態度等が含まれるものです。

第2学期は東京2020大会前最後となる小学部運動会やペルーの小学校との交流会などオリンピック・パラリンピック教育を進めるにあたり、絶好の行事が予定されています。これらの機会を有効に使い、東京2020大会に向けた機運を醸成するとともに、多様性を認め合う「真のCommunicate」の精神をはぐくんでまいりたいと思います。



小学部

- 生活目標 ●
けじめある生活をしよう
- 安全目標 ●
地震の10のポイントを知ろう

中学部

- 生活目標 ●
規則正しい生活をしよう
- 安全目標 ●
安全に新しい学期を過ごそう

小中共通

- 保健目標 ●
規則正しい生活をしよう
- 給食目標 ●
食事と運動について考えよう

小中学生未来サミット

7月27日(土)にセシオン杉並にて、「すぎなみ小・中学生未来サミット」が開かれ、本学園の中学部生徒会と小学部代表委員会の代表者で参加してきました。小学部代表委員会はスマイルタイムや合同委員会など小中学部で行っている取り組みを紹介し、中学部生徒会は、パネルディスカッションで自分の意見や考えを述べ、他校の生徒とテーマに沿った話し合いを行うことができました。



小学部5年生 富士学園での生活

5年生は、7月1日から3日まで富士学園に行きました。最初の現地での活動は、飯盒炊飯でした。協力し合い、おいしいカレーライスを作ることができました。さらに、夜のキャンプファイヤーでも歌ったり、踊ったりして学年の仲を深めました。2日目の高座山登山でも、互いに声を掛け合って急な坂道も全員で登り切ることができました。たくさん歩いた後のお弁当は格別でした。最終日、富岳風穴見学では自然が作り出した天然冷蔵庫に驚きの声が上がっていました。高学年としての自覚が芽生え、充実した2泊3日となりました。

児童の感想

- ☆「楽しく」と「協力」が達成できたので、カレー作りと登山が思い出に残っています。3日間で、社会で役立つことを学びました。
- ☆富士学園では、色々なことを学びました。集団生活は初めてで、メリハリをつけることが大切だと分かりました。
- ☆富士学園での生活は、家の生活とは違うので最初は戸惑ったけど、協力して楽しく生活できたと思います。
- ☆集団生活では、自分たちで声かけをし、次に備えることを学びました。みんなで見た花火や学校ではできない体験で、心に残る3日間でした。



中学部5組 職場体験学習

7月22日から3～5日間、9年生4人が、それぞれ色々な事業所で職場体験学習を行いました。期間中には、事前訪問や事後の振り返りも行いました。様子を見に行くと、自分の持ち場でてきぱきと仕事をしている様子が見られました。普段の生活や将来の仕事について考える、よい機会となりました。また、仕事の作業能力や態度とともに、挨拶や返事などがとても大事であることも分かりました。今後の活動に活かしていきたいです。





小中一貫教育コーナー

和泉の夏



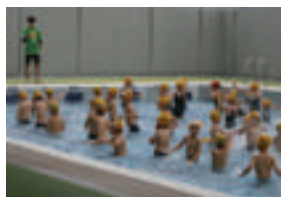
★小学部 夏季パワーアップ教室

7月23日(火)から7月29日(月)にかけて、小学部の夏季パワーアップ教室を実施しました。2学期の学習のスタートが気持ちよく切れるように、夏休みの間にパワーアップをしようというものです。毎年、多くの学校支援本部の方々にサポーターとして丸付けなどをしていただいています。子供たちは真剣な表情で取り組んでいました。パワーアップした姿で2学期のスタートを切ることができそうです。



★小学部 夏季水泳指導

今年も、夏季プールには、多くの子供たちが参加しました。汗びっしょりになって通い、練習に励みました子供たちの姿を見ると、本当に頑張っているなあ！と感心させられます。昨年と同様、今年も非常に気温が高くなり、残念ながらプールが中止となってしまうことがありました。命にかかわるので、熱中症の危険を避けなければなりません。楽しみにしている子供たちのことを想像すると、私たち教職員も、残念な気持ちでいっぱいでした。2学期のプールの日は残り僅かですが、良い気候に恵まれることを願っています。



★小学部 5年生の稲の水やり

5年生は1学期から、総合的な学習の時間で米作りをしています。丈夫な稲、おいしいお米を作るにはどうしたらよいかというテーマで調べ学習を行いました。さらに、小出生花店の小出さんや学校支援本部の方々にお手伝いをいただき、田起こし、田植えを行いました。夏季休業中は、防鳥ネットを張る準備や、当番を決めて全員で水やりと観察を行いました。おいしいお米になるよう、2学期も水やりと観察などを行い大切に育てていきます。

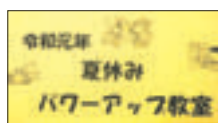


★小学部 個人面談

小学部では、夏の個人面談を例年より少し長めの時間設定で実施しました。1学期間の児童の学びの様子や成長、課題について、じっくりとご家庭と話し合うことが目的です。2学期以降、学校で力を入れて取り組んでいく学習内容や、家庭学習で伸ばしたり補ったりしていただきたい力等について、しっかりと話し合うことができたと思います。今回、共有させていただいた内容をもとに、今後も各ご家庭との連携を図りながら、ともに児童の成長を支援していききたいと思います。

★中学部 夏季パワーアップ教室

今年度の「中学部夏季パワーアップ教室」は、7月23日(火)から29日(月)までの5日間行われました。6月中旬に「参加申込書」を配布したところ、多くの生徒が参加を希望しました。特に7年生の希望が多く、やはり、小学部から中学部へ進学して学習することの重要性を感じて参加希望者が多かったのではないのでしょうか。学習は国語、数学、英語の3教科で、基礎と標準に分かれて各教室で勉強しました。先生方は生徒に応じて、個別に対応したり、一斉に講義をしたりし、生徒も集中して学習する姿が見られました。



★中学部 部活動

卓球部では7月に杉並区中体連夏季大会の大会が和泉学園で行われました。選手たちの努力の甲斐もあり、男子団体では優勝。男子個人戦では9年の浅野君が優勝、同じく9年の澤田君がベスト8、女子個人戦では8年の梅澤さんがベスト8に入賞することができました。また、7月25・26日の都大会に男女個人戦と男子団体戦に出場しました。9年生にとっては最後の大会とあって、どの選手も3年間の集大成を応援してくれた保護者や仲間たちに見せることができました。部活動での経験が今後の人生で役立つことを願っています。

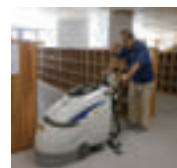
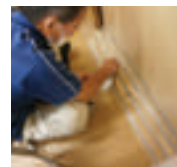


★夏の用務さん

子供たちも先生もいない中、用務さんたちは、日頃子供たちがいるときにはできないお掃除に取り組んでいます。教室のドアが動きにくくなっているのは、溝にごみがたまっているから。割り箸を削った自作の掃除道具で、きれいに掃除していました。

また、トイレの壁を洗剤で洗ってきれいな布で拭き上げると、黒っぽくなっていた壁が、真っ白に！その白さに気付きましたか？昇降口の床も、洗剤でピカピカに磨いてくださいました。

外では、35℃を超える気温の中、学園の周りとビオトープ周辺の草取りをして、見た目がすっきり！見えなかったところの仕事にも、手を抜かず汗だくで取り組んでくださり、とてもありがたいですね。皆さん、きれい使っていきましょう！



9月の行事予定



日 曜	予 定		日 曜	予 定	
	小 学 部	中 学 部		小 学 部	中 学 部
1 日		休日パワーアップ教室(9年)	16 月	敬老の日	
2 月	小学朝会 避難訓練 委員会活動(合同)	学年朝会 避難訓練 専門委員会(合同)	17 火	小学朝会 運動会係児童打合せ(6年)	
3 火	読み聞かせ(1~3年) 身体計測(1・2年) 演劇鑑賞(座・高円寺/4年) 保護者会・午前授業(1・2年)	合唱コンクール実行委員会 安全指導	18 水		水曜手習い塾
4 水	保健指導	水曜手習い塾 さざんか夏フェス実行委員会	19 木	放課後学習	【特別時程】 中間考査①
5 木	【短縮時程】生活単元見学(仲) 身体計測(3・4年) 保護者会・午前授業(5・6年) 放課後学習	【短縮時程】 生徒会選挙広報活動始 立会演説会リハーサル	20 金	児童集会(図書委員会)	【特別時程】 中間考査②
6 金	水泳指導終了 児童集会(集会委員会) 身体計測(5・6年・仲) 保護者会・午前授業(3・4年・仲) 生活習慣病予防検診説明会(4年)	さざんか夏フェス前日準備	21 土	PTA6分区スポーツ親善大会	
7 土	さざんか夏フェス2019 オータムコンサート		22 日		休日パワーアップ教室(9年)
8 日			23 月	秋分の日	
9 月	運動会特別時間割始 小学朝会(紅白決定) 理科出前授業(6年) スーパーマーケット見学(3年)①	生徒朝会	24 火	小学朝会 運動会全校練習 運動会係児童打合せ(6年)	
10 火	読み聞かせ(4~6年・仲) スーパーマーケット見学(3年)②	生徒会役委員選挙	25 水	運動会全校練習	水曜手習い塾
11 水	ラ・ウニオン学校交流始(6年) 歓迎集会	水曜手習い塾 海外留学事業事後学習会	26 木	運動会全校練習	
12 木	たてわり班集会 スーパーマーケット見学(3年)③ 放課後学習	合唱コンクール実行委員会	27 金	午前授業(1~5年) 運動会前日準備(6年)	校外学習(5組)
13 金	児童集会(飼育委員会) スーパーマーケット見学(3年)④ ラ・ウニオン学校交流終(6年)	水泳指導終	28 土	土曜授業 小学部運動会	土曜授業 (5時間授業・給食あり)
14 土	グリーンキャンプ(~15日)	和泉手習い塾(終日)	29 日	運動会予備日	
15 日		休日パワーアップ教室(9年)	30 月	振替休業日	

学校支援本部コーナー

1学期活動最終日の7月29日(月)サポーター茶話会を開催しました。

日頃より学園の子供たちを見守ってくださっている地域のサポーター33名の皆さんをお招きして、学園から学園長・小中3名の副学園長先生方にもご参加頂き行いました。サポートごとグループに分かれて、学校での活動の様子、子供たちとふれ合いよかったこと、課題など歓談しながら有意義な時間を過ごしました。

あらためてお忙しい中ご参加下さったサポーターの皆様に感謝申し上げます。

《7月の主な活動》

〔小学部〕

- ・1・2・3年生/盆踊り練習
- ・3年生/社会科見学引率
- ・仲良し学級/陶芸手伝い
- ・4年生/お箏授業サポート
- ・1~6年生/夏休みパワーアップ教室補助

〔中学部〕

- ・5組/調理実習サポート
- ・9年生/社会貢献活動募金引率

《今後の予定》・さざんかフェスタ パザー開催 9/7



前原 真智子
3年・仲よし担当

学校支援本部 メールアドレス:

info@shinsen-izumi.sakura.ne.jp

事務局 電話 6379-2857(留守電対応)



学校運営協議会コーナー

【第4回】担当:三浦 陽一 委員

7月22日(月)に講演会と「気づく喜び共感カフェ」が「やる気スイッチを探そう」をテーマに実施され、PTAの保護者の方々、教職員の皆さん、それに講師の先生方も含めて活発な議論が行われました。これまでの熟議の発展形ですが、参加された保護者の方々からは、従来に比べ参加者の共感が得られ、一体感があったと言った感想が出ていました。

子供たちの良いところを引き出すための「やる気スイッチ」を入れるには、ほめることが大切と言う点には、多くの参加者が共感されたようです。

共感カフェに続き、今年度第4回の学校運営協議会が、学園長を含む委員8名と副学園長3名で開催されました。学園から、富士学園、弓ヶ浜などの校外行事が無事終わり、一学期が大きな問題もなく終了したことが報告されました。続いてこの日行われた「気づく喜び共感カフェ」に参加した各委員の振り返り発表があり、折角の機会なので、もっと多くの保護者に参加してもらうために、どのような工夫をすべきか、また学校運営協議会の新たな役割についてなどが討議されました。二学期に発行予定のCSニュースレターでは今回の共感カフェのアンケート結果も発表する予定であります。

次回協議会は9月9日(月)開催予定です。傍聴ご希望の方は事前に副学園長までお申し出ください。



三浦 陽一